

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

お鎌さまと聚正義塾

『お江戸日本橋』の一節にあるように、「お江戸日本橋七つ立ち」、すなわち3月は午前4時ごろに日本橋を出発すると、上尾宿の入り口が閉まる日没までには、上尾に到着できたそうです。日本橋から9里16町(約37キロメートル)、中山道5番目の宿場町として栄えた郷土あげおの原風景を探しに出掛けました。

冬至に近い夕暮れ時、氷川御神社の社殿が目飛び込みます。古くは「御鎌大神宮」と呼ばれ、かつての中山道上尾宿の家並みを一望できる宿場の総鎮守、通称「お鎌さま」のご神体は、2本の鎌だそうです。鳥居をくぐり境内を進むと見事な石碑を見つけました。石碑には「上尾郷二賢堂碑



文政5(1822)年に建てられた二賢堂碑



浮世絵中山道六十九次
出典：国立国会図書館デジタルコレクション

記」のタイトルがあり、最初に、林鴎撰、市河三亥書、松平定常題額と刻まれています。調べてみると、林鴎は、江戸幕府の昌平坂学問所(湯島聖堂)の林大学頭家の第9代当主でした。市河三亥(米庵・孔陽)は幕末の三筆の一人で、二賢堂の建設に尽力した市河寛齋(子静・小左衛門)の長男。松平定常は、鳥取新田藩2万石の5代藩主で文学三侯とたたえられた人物でした。いずれも、江戸時代の高名な文人であり、教育者でした。

上尾郷二賢堂は、湯島聖堂で学び、教えていた当代一流の学者で文化人の雲室上人(鴻漸)が上尾を訪れたことを好機として、4代目山崎碩茂(武平治)らの熱意で設けられました。昔原道真と朱子を祭ったことから名付けられた二賢堂。雲室上人はそこで聚正義塾を開き、多くの人々の学び舎としたということです。山崎碩茂は、お鎌さまの隣で亀屋という旅館(宿屋)と農業を営んでいた好学の人であり、俳句に堪能だったと伝えられています。碩茂の「時雨るや民怠らず競い鎌」の句には、地域への真摯で熱い思いが伝わってきます。

大石地区
井上肇さん



市民の情報交流スポット

アッピーNET

ネット

広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

おいでください

- フォトクラブたちばな第21回写真展**
3月24日(木)～4月7日(木)9:00～17:00(7日は16:00まで)、自然学習館 当日 三星 ☎726-8109 **ひと言!**花と光のファンタジーをテーマに花を幻想的に撮影。
- 小説サークル・上尾** 3月27日(日)13:00～16:30、文化センター 定員15人 費1,000円 当日 山口☎090-7249-3155(20:00まで) **ひと言!**小説の基本の書き方。初心者の方も気がねなく。

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



いきいきサークル

- 上尾山歩きの会** 毎月1回(日)14:00～15:00、大谷公民館 費月額500円(入会金2,000円) ☎長澤☎090-8310-2593 **ひと言!**低山登山で元気に楽しむ仲間がお待ちしています。
- 上尾井戸木ヨーガ** 毎月第2・4(金)10:30～12:00、井戸木公民館 費月額2,500円(入会金1,000円) ☎河原塚 ☎771-0920(20:00まで) **ひと言!**日々の健康を保つヨーガ。初心者大歓迎、一度見学を。
- ホアレアフラ**(フラダンス) 毎月第2・4(金)13:30～15:30、畔吉集会所 費月額2,000円 ☎橋本☎090-2336-5765

ひと言!癒やしのフラを踊りませんか!初心者大歓迎。

●**ハッピーパレット**(トールペイント) 毎月2回(水)9:00～12:00、上尾公民館 費月額2,500円(入会金1,000円) ☎岩崎☎siawaseiro2016@yahoo.co.jp **ひと言!**体験あります。見学も歓迎。





ネイルをする佐藤さん(左)

コロナ禍の生活で、手洗いやアルコール消毒の機会が増えて、指先のケアを気にかける人も多いのではないのでしょうか。今回紹介する佐藤さんは、日本視覚障がい者美容協会を立ち上げ、出張型ネイルサロンをはじめとする視覚障害者のおしゃれを応援する活動をしています。

佐藤さんは、会社員として働いていましたが、好きな絵を描くことを活かしたいと、ネイリストに転身。高齢者施設で訪問ネイルのボランティアを始めました。訪問ネイルは大人気で、皆さんきれいに手入れした指先を喜んでくれたそうです。喜びの声を聞く一方で、年を重ねると目が見えにくくなることを知り、佐藤さんは目が見えない・見えにくい視覚障害者の世界に目を向けていきます。

視覚障害者は、ネイルをしたいと思っても、目で見るできないため、デ

スポットライト

～人・仲間～



さとう
佐藤

ゆうこ
優子さん
(緑丘在住)

相手の目になりおしゃれを応援

～指先から広がる会話～

「視覚障害者は、学校や職場で周囲の人がおしゃれの話をしているのを聞いて、見ることができなくても自分もおしゃれをして、一緒に会話を楽しみたいと思っています」と話す佐藤さん。活動は、ブライユ(点字)ネイルの考案や白杖デコレーション、百貨店での美容イベントの開催、ボイスメディアでのファッション情報の提供など、多岐にわたっています。ファッション情報は、女性にも男性にも需要があることから、さらなる展開も考えているとのこと。また、視覚障害者の正しい誘導の仕方などを説明したハンドブックの普及など、美容の枠を超えて活動していきたいと考えているそうです。

おうち時間ではゆっくりと目を閉じて、指先をケアしながら、目が見えない人・見えにくい人が、言葉から感じている世界を想像してみませんか。

ザインや色について細やかに説明を受ける必要があることを佐藤さんは知ります。そんな人にも、気兼ねなくおしゃれを楽しんでほしいという思いから、視覚障害者のための出張型ネイルサロンを立ち上げました。現在、20～80歳代の幅広い年代の人に利用されています。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は2月号です。

⇒広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



まちかど特派員だより

- 日本とフィリピンで学校の違いがそんなにあるなんて知らなかった。(20代・女性)
- まちかど特派員が、来日してからの33年間の経験として、日本とフィリピンの学校の違いなどを、簡潔にしっかりした文章で述べられていました。私も14年来登下校の見守りをしている関係で、興味深く拝読しました。(80代・男性)

これからも地域密着、身近な話題をお伝えしていきます。お楽しみに！！



表紙 令和4年成人式

- 成人式の表紙がほほえましいです。当時を思い出し懐かしい気持ちになれました。(30代・男性)
- 広報あげおの表紙の写真が毎回ステキです。2月号もとても明るくて、幸せそうで良いです。(60代・女性)

新成人の皆さんおめでとうございます。4月から成年年齢が18歳に引き下げられますが、上尾市は今後も20歳になる人を対象に式典を実施します。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。